

なるほど! ザ・ファンド



Vol.284

Q.

相場が高い時に投資を始めていいですか？

A.

投資開始時点の相場水準だけにとらわれすぎず、積立投資を活用し、長期的に運用を続けることが大切です。

将来の相場を予想することは難しく、最適な売買タイミングを正確に見極めることは容易ではありません。現在の相場が高値圏にあるように見えても、今後さらに上昇する可能性もあれば、反対に下落する可能性もあります。**売買のタイミングをあまり悩まず投資する方法の一つとして、積立投資があります。**定期的に一定金額を投資信託に投資する積立投資では、価格が下がっているときには多くの口数*を、価格が上がっているときには少ない口数を購入することになります。その結果、**平均購入単価を抑える「ドル・コスト平均法」の効果が期待されます。**

例えば、世界株式に毎月10万円ずつ10年間積立投資したシミュレーションをみてみましょう（下図）。リーマン・ショック前の高値から投資を開始した場合（2007年10月末開始、以下「ケース①」）の評価額は、リーマン・ショック後の安値から開始した場合（2009年2月開始、以下「ケース②」）を上回る結果となりました。今回のシミュレーションでは、高値から始めたケースでも、下落局面で継続的に積み立てたことで購入単価が平準化され、その後の相場回復により、安値から始めたケースを上回る結果となりました。投資開始時点の相場水準だけにとらわれすぎず、長期的に投資を続けることが大切です。

* 投資信託の単位のこと。投資信託は当初1口＝1円で運用をスタートするものが多く、その場合の基準価額とは1万口当たりの金額を指す。

世界株式に毎月10万円ずつ10年間積立投資をした場合は？

リーマン・ショック前後の高値と安値から投資を開始した場合のシミュレーション
(2007年10月末～2019年2月末、月次)



投資時期	積立元本	累積積立口数	積立完了時の積立評価額
ケース①（2007年10月末～2017年10月末）	1,200万円	約214万口	約2,380万円
ケース②（2009年2月末～2019年2月末）	1,200万円	約196万口	約2,235万円

(注1) 毎月末に10万円ずつ投資したと仮定した場合のシミュレーション。ただし、最終月は投資しません。

なお、購入時手数料等は考慮していません。

(注2) 世界株式はMSCI AC Worldインデックス（配当込み、円換算ベース）、2007年10月末を10,000として指数化。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※ 上記は過去の実績およびシミュレーション結果であり、今後の投資成果および市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ 積立・換金のタイミングによっては、積立評価額が積立元本を割り込むことがあります。

※ この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。